保存版

内水ハザードマップ

近年は雨の降り方が局地化・集中化など激甚化しており、都市化による土地の保水力低下と相まって、従来とは異なるタイプの浸水被害も発生してきています。

令和2年7月豪雨は、県内各地で河川の氾濫や土砂災害等を引き起こし、県南部を中心に、家屋の浸水や倒壊、公共土木施設、ライフラインに甚大な被害をもたらしました。

県内の人的被害は、死者は67人（うち災害関連死者2人）、行方不明者は2人、負傷者は50人に上っています。

出典：熊本県 令和２年７月豪雨の記録と復興への歩み

合志市　〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140番地　Tel:096-248-1111

2026年3月作成

情報の収集

大雨時に役立つ情報

合志市防災情報お知らせメール

市では、防災等の緊急情報を市民の皆様へ電子メールでお知らせする「合志市防災情報お知らせメール」を配信しています。
bousai.koshi-city@raiden.ktaiwork.jp
に空メールを送信してください。
右記の二次元コードからもメールアドレスを読み込めます。

合志市LINE公式アカウント

緊急時の災害情報など、本市に関するさまざまな情報をお届けする「市 LINE 公式アカウント」です。

※緊急情報、広報こうしの発行など、広く知っていただきたい情報は、受信設定の有無にかかわらず利用者（友だち）全員に一斉配信します

防災情報くまもと

県内の災害情報や避難所開設情報を確認できます。
https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp

キキクル

気象庁が提供するキキクル「危険度分布」。大雨による土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度を５段階の色分けで地図上に表示し、リアルタイムで確認することができます。
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/

防災行政無線聞き直しダイヤル

096-248-2288

防災無線が聞き取れない場合は、「防災行政無線聞き直しダイヤル」を利用してください。
※聞き直しには通話料が発生します。
放送直後はつながりにくいことがあります

テレビデータ放送

テレビのデータ放送を通じて情報をお届けします。
ご利用の際はリモコンの「d」ボタンを押してください。

災害用伝言ダイヤル（171）

災害用伝言ダイヤル『１７１』や災害用伝言板は、災害時の安否確認に有効な方法です。

伝言の録音方法 ▶ １７１にダイヤルする ▶ 録音の場合 １ ▶ （　）　－
（ガイダンスが流れます）　電話番号は市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法 ▶ １７１にダイヤルする ▶ 再生の場合 ２ ▶ （　）　－

※あらかじめ、家族や友人間で伝言を録音する電話番号を決めておきましょう。

災害用伝言板（web171）

インターネットを通じて被災地の安否情報を登録・確認できるサービスです。

https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/

水害について

内水ハザードマップとは

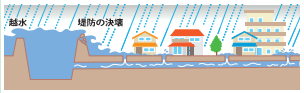
内水ハザードマップとは、下水道の雨水排水能力を上回る降雨が生じた際に、浸水が想定される区域や浸水する深さなどの情報をまとめたマップです。

水害のメカニズム

雨が強く降り続くと…内水氾濫

水路等は排水不良となり、低い土地等では内水氾濫が発生するおそれがあります。排水ポンプ場の能力を超えた流量になると、更に浸水の危険性は高まります。

更に雨が強く降り続くと…洪水（外水氾濫）



河川や水路があふれたり、河川堤防が決壊する等の大きな洪水（外水氾濫）が発生するおそれがあります。

コラム　雨の強さと降り方

1時間雨量（mm）	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
雨の強さ（予報用語）	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
雨の降り方	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
屋内（木造）	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	

家族で備える

備蓄品・非常持出品

大規模災害に備えて食料、飲料水などの日用品備蓄は最低３日分（可能であれば７日分）確保しておきましょう。非常時に持ち出せるリュックなどの準備も必要です。

家族での備蓄品・持出品『チェックリスト』

市のホームページの防災サイトで、備蓄品・持出品の一例やわが家の安全確認など『日頃の備え』を詳しく確認できます。

日頃からの備え　～家庭備蓄編～
https://www.city.koshi.lg.jp/bousai/kiji00324390/index.html

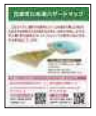
コラム　市で作成している他のハザードマップ

市で作成している他のハザードマップも確認し災害に備えましょう。下の二次元コードを読み取るとダウンロードサイトにアクセスできます。

総合防災マップ

堀川ハザードマップ

ため池ハザードマップ



ハザードマップ
https://www.city.koshi.lg.jp/bousai/8st00558.html

web 版ハザードマップでは、洪水、土砂災害、ため池浸水想定区域、避難施設等が確認できます。

WEB版ハザードマップ

https://www.city.koshi.lg.jp/hazardmap/map.html#ay=saigai_01

避難について

避難の種類

「避難」とは「難」を「避ける」こと。危険な場所にいる場合には、その場を離れて安全な場所に行く「立退き避難（水平避難）」が原則ですが、避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅・ホテルなどへ避難するのも選択肢の**一つ**です。

また、ハザードマップを確認し、浸水深より居室は高く、水・食料などの備えが十分あり、水が引くまで我慢できる状況であれば屋内に留まることが可能です（屋内安全確保（垂直避難））。

立退き避難（水平避難）

早期立退き避難が必要な区域

早期立退き避難が必要な区域とは「家屋倒壊等氾濫想定区域」及び浸水深が3.0m以上の区域です。
家屋倒壊等氾濫想定区域 … 想定される最大規模の降雨によって河川が氾濫した場合に、家屋の倒壊や流失のおそれがある区域。
（合志市ハザードマップ（Web版）をご確認ください。）
このような区域では、災害時は命に危険がおよぶおそれがあるため、自らが判断し、早めの避難を心がけましょう。

屋内安全確保（垂直避難）

垂直避難をする場合には、電気・ガス・水道などのライフラインが使えずに長期孤立するおそれがあります。垂直避難した後も安全に避難生活を送るために、備蓄の重要性も理解しておく必要があります。

※電気、ガス、水漏が止まることを考慮して、ポータブル電源やカセットコンロ、カセットボンベ、備蓄用の水、食料などを用意しておきましょう。

避難の心得

避難の際、外出中の家族がいる場合「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。

単独での避難行動は危険が伴うため2人以上で避難しましょう。

夜間の避難は周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。暗くなる前に避難しましょう。

自助・共助で備える

防災訓練に参加しましょう

地道な訓練を繰り返すことが自助・共助につながります。地域が実施する防災訓練に参加し、地域の方々と共に“いざという時どうするか”学び、災害に備えましょう。

自治会ごとの避難訓練
（区長から区民への避難訓練伝達説明のようす）

段ボールベッド組立体験
（市防災士による組立説明のようす）

避難行動要支援者を指定福祉避難所へ移送するようす

防災行動計画「マイタイムライン」

マイタイムラインとは、大雨や台風などの自然災害から私たち自身を守るための防災行動計画です。

「５段階の警戒レベル」を確認して、避難を開始する状況やタイミングである「避難スイッチ」がはっきりするようにマイタイムラインを作成しましょう。

マイタイムラインについては熊本県がホームページに風水害版、地震・津波版のガイドブックと携帯でマイタイムラインを作成できるフォームを掲載しています。

くまもとマイタイムライン
https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/guide

マイ避難カードを活用しましょう

マイ避難カードとは、災害が発生したときに「いつ」「どこに」「どのように」避難すればよいのかを事前に確認して記入しておき、目につきやすい場所に掲げておくことで、緊急時の行動の目安として役立たせるためのカードです。

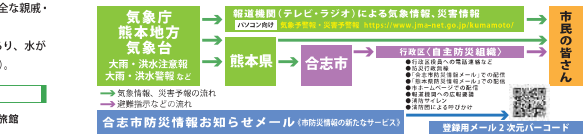
下の二次元コードからダウンロードできますので、いざというときのためにご活用ください。

マイ避難カード
https://www.city.koshi.lg.jp/bousai/kiji00319157/3_19157_up_v5gykqlr.pdf

防災情報、防災気象情報について

防災情報、防災気象情報の伝達経路

災害に関する注意報や警報が発表されたら市からの情報に注意してください。



警戒レベルととるべき行動について

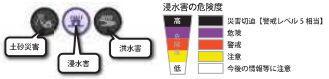
警戒レベルとは災害の危険度を５段階のレベルで示す情報です。市が発令する避難情報と防災気象情報、とるべき行動を結びつけ、直感的に理解しやすくしたものです。

警戒レベル	避難情報	警戒レベルに相当する気象庁等の情報					住民がとるべき行動
		大雨浸水	土砂災害	河川氾濫	キキクル		
5	緊急安全確保	大雨特別警報	土砂災害特別警報	氾濫特別警報	災害切迫		命の危険 直ちに安全確保！
〈警戒レベル４までに必ず避難！〉							
4	避難指示	大雨危険警報	土砂災害危険警報	氾濫危険警報	危険		危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	大雨警報	土砂災害警報	氾濫警報	警戒		避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	－	大雨注意報	土砂災害注意報	氾濫注意報	注意		避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	－	早期注意情報			－		災害への心構えを高める

※令和８年出水期より運用開始

キキクル

キキクルとは気象庁が発表する防災気象情報で、大雨による土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度の高まりを５段階に色分けして地図上で確認できるシステムです。



※キキクルのURL、二次元コードは「情報の収集」をご確認ください。

水害に備える

家庭でできる浸水対策

家庭にあるものを使って水の侵入を防ぐ方法の例です。あくまでも水深の浅い初期で行うものです。

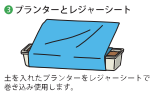
❶ゴミ袋による簡易水のう

40L程度のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れます。段ボール箱に入れると強度が増します。

❷ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み凍結して使用します。

❸プランターとレジャーシート

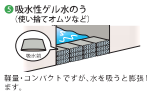


土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

❹板など

出入り口で長めの板などを使用します。

❺吸水性ゲル水のう（使い捨てオムツなど）



報道・コンパクトですが、水を吸うと膨張します。

側溝や雨水ますの取水口の確認

側溝や雨水ますにごみや落ち葉などが詰まると水が流れにくくなりますので、お近くの側溝や雨水ますの清掃にご協力をお願いします。

また、プランターや乗り上げ部等で雨水ますをふさいでしまうと、道路上に水があふれてしまうため、物を置かないようにしましょう。

コラム　雨水に関する補助金について

市では、雨水の有効利用による地下水保全のため、雨水タンクや雨水浸透ますを設置する人に補助金を交付しています。

雨水タンクは雨水を貯めて庭木の水やりや洗車などに利用するもので、地下水保全だけでなく水道代の節約にも効果的です。雨水浸透ますは雨水を地下へ浸透させる装置で、雨水の流出を抑制し、水害軽減や地下水の涵養に繋がります。

詳しくは市のホームページ「地下水保全施設（雨水タンク、雨水浸透ます）設置補助制度について」をご確認ください。

地下水保全施設（雨水タンク、雨水浸透ます）設置補助制度について
https://www.city.koshi.lg.jp/kiji0034126/index.html